平成30年度

教育委員会点検・評価報告書
（対象：平成29年度事業）

平成30年10月
田布施町教育委員会

1　趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会（以下「町教育委員会」という。）では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成29年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2　点検及び評価の実施について

（1）対象事業

平成29年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「平成29年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

（2）評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

（評価委員）

西光　俊雄　（元町教育次長兼学校教育課長）
髙橋　邦子　（元町教育委員）
田中惠美子　（元町小学校長）

（評価基準）

A：目的に対し、順調に事業が達成できた。
B：事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね（8割程度）目的を達成できた。
C：目的の一部（5割程度）は達成できたが、事業の改善が必要である。
D：事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

3　点検及び評価の結果について

別紙のとおり

4　学識経験者の知見について

（1）評価全般について

学校施設や社会教育施設等、老朽化が進んでおり、早期の安全対策及び中長期計画を踏まえた改善が必要と考える。中学校の大規模改修は計画的に実施してほしい。また、中央公民館については、耐震化工事を含め、早期の対策をお願いする。

小学校教室の空調設置については、環境・生活習慣等の変化により子供たちを取り巻く情勢は過酷なものとなり、普通教室の整備は喫緊の課題となっている。予算との兼ね合いもあるが、昨今は子供たちの健康も危ぶまれるほどの猛暑となっており、早急に空調設備の設置をお願いする。

不登校については、中学校は多少減少傾向となっているが、比率から考えると大変重要な問題だと考えられる。関係者を含め熱心に対応しており、さらなる連携や支援体制を強化し継続的な働きかけを通して、一人でも多くの子供が登校できるよう努力していただきたい。

地域協育ネット推進事業での放課後子ども教室は、すべての小学校で開催される事を期待しており、地域と学校の一層の連携・協働を求めたい。

(2)施策、事業ごとの知見

【学校教育の充実】

No.3　小学校管理事業

小学校の校舎は全体的に老朽化が進んでいるが、計画的な修繕によりおおむね安全・安心で良好な環境を確保されていることは、大いに評価できる。しかし、近年の、夏の猛暑により、児童の授業・健康についても影響が懸念されるため、小学校についても早急な空調設備の設置が望まれる。

No.5　中学校管理事業

建築後24年が経過し、校舎や体育館の老朽化が見受けられる。大規模改修計画に基づき、空調設備を整備した後も、引き続き外壁、屋上防水等整備についても順次対応していただきたい。

No.11　幼児教育推進事業

幼保小中連携による基本的生活習慣の現状把握と指導助言の実施及び、小中学校教員や福祉部局と連携した幼保園への訪問や、幼保園と小中学校教員の合同研修による情報の共有や連携を図っていることは、非常に評価できる。幼児教育の質的向上を図り、連続性・一貫性のある教育の取組に期待する。

No.12　生徒指導推進事業

いじめや不登校は本町にとっても大きな問題となっている。悩みの早期発見のためのアンケートや調査等をきめ細やかに実施するとともに、スクール・カウンセラーやスクール・ソシャル・ワーカー等専門家の活用や関係機関との連携を密にした、早期発見・対応の体制が出来ていることは評価できる。いじめ・不登校の未然防止に向けた組織的・継続的な取組を引き続き強化してほしい。

No.13　学力向上推進事業

研修主任を中心に、教職員一丸となって授業力向上に努めている。町内小学校での授業モデルや学力向上振り返りシートの活用による学習規律の習慣化が、中学校での学習の充実につながっている。年２回の学力検証サイクルや成長診断チェックが確実な学力定着につながっている。

No.15　特別支援教育推進事業

５歳児発達相談に参加し、早い段階での就学に向けた相談の充実で、保護者の特別支援教育への理解や対応が進み、以後の学校での適切な指導につながっていることは、大いに評価できる。また、支援の必要な児童生徒が入級できない学校もあり、新たな教室の設置を期待する。

No.18　学校給食センター運営事業

地場産の食材を多く使用していることを保護者地域にも大いに周知していただきたい。園児のオープンスクール及び給食試食会は、幼保小のなめらかなつながりとなっていることから、今後も継続してほしい。

【社会教育施策の充実】

№20　地域協育ネット推進事業

平成29年度から統括コーディネーター1名を配置し、地域と学校の連携・協働を推進するなど内容の充実に努めており、評価できる。なお、放課後子ども教室が未設置の学校については、教室の開催に向けて取り組んでほしい。

№22　人権教育推進事業

田布施町人権教育学習講座については、10月に3回実施しているが、開催時間は夜7時からとなっている。高齢者の皆さんにとっては、昼間の開催の方が参加しやすいと思われるので、今後の開催については十分検討されたい。

【豊かな文化の継承と創造】

№24　地域公民館まつり開催事業

各公民館で文化展等が実施されており、生涯学習の成果の発表の場となっているが、中央公民館の文化展は参加者数も年々減少しており、今後の開催については、関係団体等と十分検討されたい。

№25　地域公民館運営事業

各公民館の運営については、利用者も多く、生涯学習の推進に貢献しているが、高齢化により講座利用者が年々減少傾向にある。その対策として、平成29年度から公民館講座利用者については、使用料を半額免除とする制度を導入したことは評価できる。

5　今後の取組について

事業の点検及び評価の結果を十分に精査し、効果的・効率的な教育行政が展開できるよう、学識経験者の知見を踏まえ、事業の見直し、改善を進めます。

平成27年度策定した田布施町教育大綱、田布施町教育基本計画に基づき、「事業の点検・評価票」の内容について検討を進めてまいります。

また、今回の学習指導要領の趣旨に則り、新しい時代に必要となる資質、能力の育成と学校評価の充実に努め、特に学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性（やり抜く力や自制心）等の涵養を図ってまいります。

事業の点検･評価一覧表

No	事 業 の 名 称	経　費 (千円)	評価	担 当 課
1	教育委員会運営事業	705	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	9,312	A	
3	小学校管理事業	20,337	A	
4	小学校教育振興事業	2,389	B	
5	中学校管理事業	81,240	A	
6	中学校教育振興事業	3,491	B	
7	保健関係事業	3,896	A	
8	就学援助事業	12,543	A	
9	教員補助者設置事業	6,137	A	
１０	幼稚園就園奨励費事業及び多子世帯保育料等軽減事業	14,220	A	
１１	幼児教育推進事業	―	A	
１２	生徒指導推進事業	1,473	B	
１３	学力向上推進事業	8,342	A	
１４	体力向上推進事業	―	A	
１５	特別支援教育推進事業	―	A	
１６	キャリア教育推進事業	―	B	
１７	コミュニティ・スクール推進事業	250	B	
１８	学校給食センター運営事業	64,141	A	

No	事 業 の 名 称	経　費 （千円）	評価	担 当 課
１９	生きがい教室開催事業	296	A	社会教育課
２０	地域協育ネット推進事業	3,066	B	
２１	成人式開催事業	472	A	
２２	人権教育推進事業	462	A	
２３	青少年の健全育成事業	800	A	
２４	地域公民館まつり開催事業	400	B	
２５	公民館運営事業	18,809	A	
２６	公民館施設管理事業	15,589	B	
２７	図書館管理運営事業	12,050	A	
２８	郷土館管理運営事業	7,769	B	
２９	埋蔵文化財調査事業	34,920	B	
３０	スポーツ推進体制強化事業	471	B	
３１	生涯スポーツ推進事業	2,600	B	
３２	我がまちスポーツ推進事業	―	A	
３３	スポーツセンター管理運営事業	24,507	B	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教育委員会運営事業		
事業の概要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事業の実績	・教育委員会会議及び協議会:6回 ・総合教育会議開催:2回 ・教育委員学校訪問:11 月 6 日(小学校 4 校、中学校 1 校、給食センター) ・教育委員研修会等 ①山口県市町教育委員会委員研修会:4 月 18 日(山口市) ②柳井地域教育委員等研修会:11 月 27 日(周防大島町) ③山口県教育委員会協議会・山口県教育長会合同定例会:3 月 28 日(山口市) ・その他教育関係行事(小中学校入学式・卒業式・運動会等)への出席 委員報酬[690,800 円]、評価委員報酬[15,000 円]		
事業の経費	705 千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を年 2 回開催し、各学校の現状や施設整備について町長部局との連携を図った。		
評　価	A		

No.2

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	スクールバス運行事業		
事業の概要	遠距離通学となる児童の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台を交通業者に委託		
事業の実績	対象児童生徒の登下校及び総合的な学習の時間や中学校部活動に利用 ・麻郷小学校　　1台 (対象人数: 21 人) ・田布施西小学校　1台 (対象人数: 7 人) ・東田布施小学校　1台 (対象人数: 12 人) ・総合的な学習の時間(39 回)、部活動利用(17 回) 運行委託料[7,684,132 円]、修繕料[399,283 円] 消耗品[51,048 円]、燃料代[695,868 円]、保険料[46,110 円] 車検[355,066 円]、重量税[80,700 円]		
事業の経費	9,312 千円		
事業の成果と課題	遠距離通学の児童の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。 課題として、バスの老朽化に伴い修繕等も増加しており、安全面から考慮すると早期買替えが望ましいが、これからの児童生徒数の推移を踏まえて、今後のスクールバスの適正な運用管理を慎重に検討する必要がある。		
評　価	A		

No.3

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	小学校管理事業		
事業の概要	所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。		

<table>
<tr><td>事 業 の 実 績</td><td>・光熱水費　8,128 千円

・点検管理業務等の委託 12 件　4,836 千円
<table>
<tr><th>内訳</th><th>H29　(円)</th></tr>
<tr><td>消防</td><td>435,240</td></tr>
<tr><td>電気</td><td>418,608</td></tr>
<tr><td>浄化槽</td><td>1,393,878</td></tr>
<tr><td>清掃</td><td>1,420,416</td></tr>
<tr><td>ﾌﾟｰﾙ</td><td>138,240</td></tr>
<tr><td>貯水槽</td><td>45,576</td></tr>
<tr><td>樹木剪定</td><td>216,000</td></tr>
<tr><td>下水中継ﾎﾟﾝﾌﾟ</td><td>181,440</td></tr>
<tr><td>遊具点検</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ｼﾝｸﾗｼｽﾃﾑ保守</td><td>281,016</td></tr>
<tr><td>機器保守</td><td>95,283</td></tr>
<tr><td>パソコン保守</td><td>210,600</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>4,836,297</td></tr>
</table>
※遊具点検については 3 年毎に実施。(次回はH30 年度)

・各小学校修繕費　4,926 千円
・城南小学校インターホン配線取付工事　1,587 千円
・学校用備品 860 千円([一般備品 650,160 円]+[その他備品 209,628 円])</td></tr>
<tr><td>事 業 の 経 費</td><td>20,337 千円</td></tr>
<tr><td>事業の成果と課題</td><td>児童の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。今年度、城南小学校の懸案事項であった、施設内連絡がインターホンの設置により改善された。</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>A</td></tr>
</table>

No.4

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td>学校教育の充実</td><td>担当課</td><td>学校教育課</td></tr>
<tr><td>事 業 の 名 称</td><td colspan="3">小学校教育振興事業</td></tr>
<tr><td>事 業 の 概 要</td><td colspan="3">児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金</td></tr>
<tr><td>事 業 の 実 績</td><td colspan="3">・総合的な学習における講師謝金　28 千円
・バス・渡船借り上げ料　220 千円
(陸上記録会、音楽会、総合的な学習)
・教材備品　489 千円
・図書購入費・英語絵本　1,145 千円

・各種負担金、補助金　507 千円
<table>
<tr><th>内訳</th><th>H29　(円)</th></tr>
<tr><td>教職員研修</td><td>150,000</td></tr>
<tr><td>県郡校長会</td><td>129,400</td></tr>
<tr><td>県郡教頭会</td><td>112,500</td></tr>
<tr><td>県郡教研究会</td><td>57,000</td></tr>
<tr><td>小学体育連盟</td><td>5,620</td></tr>
<tr><td>養護教諭研修会</td><td>16,000</td></tr>
<tr><td>事務職員研修会</td><td>20,000</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

	学校保健連合会 16,040 合　計 506,560
事業の経費	2,389 千円
事業の成果と課題	図書蔵書の充実と、2020 年度小学校の外国語の教科化等に向けた英語の教育の充実に合わせ、児童が英語へ親しみ、スムーズな導入が出来るよう小学校へ英語絵本の追加配布を行った。また、理科教育設備整備事業・デジタル教材を含め新しい教材等の整備を図っていく。今後、計画的な更新が必要である。
評価	B

No.5

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	中学校管理事業		
事業の概要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。		

事業の実績

・光熱水費　5,711 千円

・点検管理業務等の委託9件　4,025 千円

内訳	H29　(円)
消防	426,600
電気	174,960
清掃	954,433
ﾌﾟｰﾙ	34,560
貯水槽	120,204
樹木剪定	50,000
ビル管理	2,170,800
ｼﾝｸﾗｼｽﾃﾑ保守	71,928
ﾊﾟｿｺﾝ保守	21,600
合計	4,025,085

・修繕費　3,815 千円

・田布施中学校空調改修工事　67,494 千円

種別	内　訳	金額(円)
委託料	田布施中学校空調設備改修工事設計監理業務委託	11,016,000
工事請負	田布施中学校空調改修工事（機械設備工事）	37,107,720
	田布施中学校空調改修工事（電気設備工事）	19,369,800
合　計		67,493,520

・学校用備品　195 千円

事業の経費	81,240 千円
事業の成果と課題	生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。 中学校においては、築後 24 年が経過し老朽化等も激しいことから、空調整備、大規模改修を含めた「平成 29～31 年度事業計画」に基づき実施する予定であった。H28 年度の国の補正予算により「平成 28 年度空調整備事業」の繰越事業として工事を行い、普通教室・特別支援教室・校長室・職員室に空調設備の整備が出来た。 引き続き、大規模改修工事を計画している。国の予算を注視しながら補正予算も含めて事業を進める必要がある。

評　　価	A

No.6

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	中学校教育振興事業		
事業の概要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金		
事業の実績	・総合的な学習における講師謝金　13 千円 ・バス借上げ料　164 千円　吹奏楽部コンクール出場（1台） ・教材備品　382 千円 ・図書購入費　491 千円 ・部活動備品　418 千円 ・各種負担金、補助金　2,023 千円		

内訳	H29　（円）
事務職員研修会	10,000
養護教諭研修会	4,000
県郡校長会	34,000
県郡教頭会	22,500
県郡教育研究会	48,500
中学体育連盟	268,000
学校保健連合会	7,980
中学文化連盟	39,900
修学旅行	108,772
部活動指導	360,000
集団宿泊	475,200
県大会出場助成	500,000
教職員研修会	144,000
合計	2,022,852

事業の経費	3,491 千円
事業の成果と課題	理科教育設備整備事業・デジタル教材を含め新しい教材等の整備を図っていく。 今後、計画的な更新が必要である。また部活動備品等高額な物もあり、部活動に支障が起きないよう、年次的、計画的に更新をしている。
評　　価	B

No.7

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		

事業の実績	・教職員健康診断(基本検診)　535,540 円 ・教職員健康診断(胃検診)　268,840 円 ・教職員健康診断(結核検診)　84,671 円 ・児童生徒心臓検診 (小1年・4年、中1年)　732,186 円 ・就学時健康診断　561,600 円 ・児童生徒健康管理　1,712,800 円
事業の経費	3,896 千円
事業の成果と課題	児童生徒や教職員の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な対応をしている。また、町内での受診が難しい場合、近隣の教育委員会と調整を図りながら、未受診がないように実施している。
評価	A

No.8

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	就学援助事業		
事業の概要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事業の実績	・小学校 学用品費 93 人[2,222 千円]医療費 7 人[43 千円]給食費 91 人[4,204 千円] 新入学準備金 15 人[609 千円] ・中学校 学用品費 47 人[2,192 千円]医療費 0 人[0 千円]給食費 46 人[2,182 千円] 新入学準備金 23 人[1,090 千円]		
事業の経費	12,543 千円		
事業の成果と課題	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、適正に運営している。H29 年より新入学児童生徒に、入学準備金を 3 月に支給し、より充実した援助を行った。		
評価	A		

No.9

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教員補助者設置事業		
事業の概要	特別な教育的支援を必要とする児童の、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。		
事業の実績	・配置校及び人数 麻郷小学校　2名　田布施西小学校　2名 東田布施小学校　2名　城南小学校　2名 計　8名		
事業の経費	6,137千円		
事業の成果と課題	特別な教育的支援を必要とする児童に対して、より良い学習環境を提供するため、教員補助者を各小学校に 2 名配置している。よりきめ細かな指導を行うため、継続していく必要がある。		
評価	A		

No.10

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼稚園就園奨励費事業及び多子世帯保育料等軽減事業		
事業の概要	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料について、その一部を補助する。この対象者で 18 歳未満の者のうち年長者から 3 人目の園児がいる世帯に対して補助金を支給する。		
事業の実績	平成 29 年度は町内在住の園児 115 人を対象に保育料等の一部を補助した。また、多子世帯の対象にあたる、7 人に補助した。		
事業の経費	14,062 千円（幼稚園就園奨励費） 158 千円（多子世帯保育料）		
事業の成果と課題	保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の全額又は一部を補助することにより、保護者負担の軽減の支援を行った。今後も国の動向を見ながら、事業を継続していく必要がある。また、平成 27 年度から実施している多子世帯保育料等軽減事業についても毎年数件対象世帯があり、引き続き補助していく。		
評　価	A		

No.11

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼児教育推進事業		
事業の概要	幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。		
事業の実績	・幼保小中連携会議の開催（年3回） ・5歳児発達相談会での就学に関する相談、助言 ・就学時健康診断の実施 ・福祉関係部局と連携した就学に係る幼保園訪問 ・小中教員による幼保園訪問の開催 ・教員の幼児教育長期研修派遣の支援		
事業の経費	― 千円		
事業の成果と課題	幼保小中連携会議を3回実施し、基本的生活習慣の現状把握と指導助言を実施した。また、小中教員や福祉部局と連携した幼保園への訪問や、幼保園と小中学校教員による合同研修を実施し、情報の共有や連携を図った。		
評　価	A		

No.12

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	生徒指導推進事業		
事業の概要	児童生徒が互いの心身を大切にし尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立、また、いじめや不登校への早期発見・早期対応により、個に応じたきめ細かな支援体制を確立する。		

事業の実績	・スクール・カウンセラー(SC)、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)の積極的な活用 （定期的・臨時的相談、訪問含む） ・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実 ・GAP 調査（生徒理解のための受容感プロファイリングツールとして活用している） ・ケース会議の開催 （学校の要請により、スクール・カウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカー、警察、児童相談所、関係各課の参加） ・町民福祉課との情報交換実施 【不登校】　【暴力行為】　【いじめ（認知件数）】 H28　小3人　中16人　小1人　中4人　小1人　中9人 H29　小3人　中11人　小1人　中5人　小5人　中6人 SSW派遣事業 委託料　412,059 円 不登校総合対策事業 学習支援員 臨時雇賃金　770,000 円 SC賃金　258,500 円 普通旅費　32,338 円
事業の経費	1,473 千円
事業の成果と課題	小学校の不登校については横ばいであり、中学校は減少傾向となっている。しかし、比率から考えると非常に多く、本町にとっても切実な問題となっており、重く受け止めている。 小中が連携して、これらに対応し、スクール・ソーシャル・ワーカーと指導主事が不登校等状況を把握するため、3学期には各小学校への巡回訪問を行っている。 中学校進学へ向けては、スクール・カウンセラーと中学校養護教諭、指導主事が各小学校を訪問して情報交換を行っている。さらに、県事業を活用し、改定されたいじめ防止基本方針の周知及び取組に係る学校評価への位置付け等を通して、学校での組織的な対応や関係機関との積極的な連携により、改善方向に向かっている事案も増えている。 今後も、スクール・ソーシャル・ワーカーやスクール・カウンセラーとの連携を強化し早期発見・早期対応はもとより、一人でも多くの児童生徒が登校できるように、個に応じたきめ細かな支援体制の強化を図りたい。
評価	B

No.13

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	学力向上推進事業		
事業の概要	学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。		
事業の実績	・指導主事の学校訪問による指導、支援 ・校内研修（研究授業）への指導・助言 ・授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言 ・町学力向上担当者会議（年3回）の開催による「全国学力・学習状況調査」及び「山口県学力定着状況確認問題」への対応 ・「田布施町成長診断調査」の実施及び指導による学力、成長の保証		
事業の経費	8,342 千円		

事業の成果と課題	各学校が研修主任を中心に「授業改善に向けた校内研修計画」「学力向上プラン」に基づき、学力向上に向けた授業や学習活動を行っている。また、指導主事が1名増員の2名体制になったことにより、学校の支援、指導がきめ細やかにできるようになった。 授業改善では、学校訪問や授業公開等を機会に「田布施版授業モデル」の活用の徹底を図ってきた。また、町学力向上担当者会議を年3回開催し、学力向上担当が「全国学力・学習状況調査」や「県学力定着状況確認問題」の結果分析や共通取組事項を協議・確認している。今年度より、「学力向上振り返りシート」を導入し、課題克服への取組も共有している。さらに、本町の課題解決に直結する重点取組事項4点（①家庭学習の充実②読書活動の推進③「授業モデル」の活用④「学力向上振り返りシート」の活用）を示し、確実な検証改善サイクル及び町共通取組による実施を継続したい。 今後の課題の一つとして、コミュニティ・スクールの仕組や関係機関との連携による学習支援や放課後の充実に向けた取組を進めていきたい。
評　　価	A

No.14

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	体力向上推進事業		
事業の概要	体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。		
事業の実績	・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導 ・町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝競走大会への参加 ・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言 ・スポーツまつりなど積極的参加の指導 ・学校林を活用した体力づくり		
事業の経費	― 千円		
事業の成果と課題	各学校で「体力向上プログラム」を作成し、始業前や業間体育、昼休み、放課後等を利用して体力向上に取り組んだ。敷地内にある学校林を利用した体力づくりや、町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝への参加のための練習により、全校あげて体力向上への取組を行った。体力テストに向けての正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、成果が見られた。 今後、県トップレベルを維持していくために、体力面での課題である柔軟性や投力・握力に重点をおいた指導の工夫が必要と思われる。		
評　　価	A		

No.15

施　策　名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	特別支援教育推進事業		
事業の概要	児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。		
事業の実績	・町教育支援委員会の開催 ・町校内コーディネーター研修会の開催 ・町幼保小中連携会議の開催（年3回） ・就学に係る幼・保園訪問の実施		

	・就学時健康診断の実施と結果の通知 ・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの連携 ・各学校における特別支援学級等設置状況 麻郷小学校　　:自閉症・情緒障害、通級指導教室 田布施西小学校:自閉症・情緒障害、知的障害 東田布施小学校:自閉症・情緒障害、知的障害、難聴 城南小学校　　:病弱 田布施中学校　:自閉症・情緒障害、知的障害、通級指導教室
事業の経費	― 千円
事業の成果と課題	幼保小中連携会議により成果と課題の共有化を図り、田布施町の教育のあり方について共通認識した。 保健センターと情報の共有や連携を強化するため、5歳児発達相談に参加し、できるだけ早い段階での就学に向けた相談や、関係機関との連携を図った。 また、昨年までの「身体に関する結果通知」に加え、「知的発達検査の結果」についても通知するように改善し、就学前の相談体制の構築に努めた。 また、支援の必要な児童が特別支援学級や通級指導教室に入級できない学校もあるので、来年度新設をめざして申請をする。 課題としては、各学校の校内コーディネーターの役割の重要性や学校全体で行われるべき個々の児童・生徒に適した指導や支援の方法等について研修する必要がある。
評価	A

No.16

施策名	ふるさと就労に向けた高校・大学との連携	担当課	学校教育課
事業の名称	キャリア教育推進事業		
事業の概要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事業の実績	・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導 ・1/2成人式、志教育の奨励 ・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言		
事業の経費	― 千円		
事業の成果と課題	キャリア教育に対して、社会見学や職場訪問、職場体験が、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では、志教育や栄光の旗顕彰式が行われている。 「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実行するよう助言した。特に中学校に関しては、この式を立派な立志と捉えている。将来の夢や目標に対して決意を堅持する場を毎年設定していくことが必要である。 今後は、保護者や地域と連携した 1/2 成人式や、中学校については地元企業を対象とした職場体験の充実を図り、地元のよさをさらに気づかせる必要がある。		
評価	B		

No. 17

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	コミュニティ・スクール(CS)推進事業		

事業の概要	学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校支援や子供の育成に努める。
事業の実績	[麻郷小 4回] [田布施西小 4回] [東田布施小 4回] [城南小 4回] [田布施中 4回] 学校運営協議会 50,000円×5校＝250,000円
事業の経費	250千円
事業の成果と課題	H27年度から中学校、H28年度に小学校でコミュニティ・スクール(CS)が始まり、組織としての運営も少しずつではあるが軌道にのりはじめ、地域との繋がりもできてきた。その中でCS委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールが目指す方向性について提示することができた。 今後とも、CS合同委員会(学校小中連携部会と地域協育ネット部会)の開催を始め、小中一貫の教育推進に向け、学校・家庭・地域・行政等社会総がかりでの学校地域協働活動を進めていきたい。
評価	B

No.18

施策名	学校給食センターの効率的な運用	担当課	給食センター
事業の名称	学校給食センター運営事業		
事業の概要	児童生徒の心身の健全な発達のため、安全でおいしくバランスのとれた栄養豊かな食事を提供し、健康の増進、体位・体力の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。 児童生徒が生涯にわたって健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を提供する。		
事業の実績	・給食対象校 小中学校 5校 ・年間給食回数 198日 ・年間給食 243,298食 ・給食費収入額 63,891,660円 ・米飯 週4回 パン 週1回 ・地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 92.9% ・各小学校への学校給食巡回訪問 30回		
事業の経費	64,141千円		
事業の成果と課題	食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残食率が低下してきている。今後もこの取組を継続していく。 食中毒や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底していく。 就学時に児童が安心して学校給食を食べることができるように、町内6園の年長園児を対象にした給食試食会を実施した。 老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。 現在、町職員(調理員)が3人である。常勤パート(パートリーダー)は1人増員し2人体制とした。今後、年次的にリーダーを増員し、可能な限り、町による運営を継続していく。		
評価	A		

事業の点検評価票(社会教育)

No.19

施　策　名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	生きがい教室開催事業		
事業の概要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、高齢者の生きがいづくりを図っている。各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、定期的(月1回程度)に生きがい教室を開催する。(講座運営費　年1，500円を徴収)		
事業の実績	【修了証書授与者】 城南公民館30人、西田布施公民館51人、東田布施公民館42人、麻郷公民館32人、麻里府公民館39人　合計　194人 (経費内訳:　講師謝金、消耗品費等)		
事業の経費	296千円		
事業の成果と課題	各地域の公民館生きがい教室とも、30人から50人程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取り組んでいる。内容は、防災・防犯、健康に関することや、小・中学生とのふれあいの会、研修旅行など多岐にわたり、各公民館で高齢者の生きがいづくり、生涯学習の場として特色ある取組活動がされている。		
評　価	A		

No.20

施　策　名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	地域協育ネット推進事業		
事業の概要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室事業の企画・運営を支援する。		
事業の実績	・放課後子ども教室(7教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「たぶせキッズ教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」 ・CS・地域協育ネット合同研修会(2回) 中央公民館にて講義(12月15日)、熟議(8月23日) 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額　1，141千円) (経費内訳:　賃金、講師謝金、消耗品費、通信運搬費等) 県事業「放課後子ども教室一体型の推進に係る設備整備 (補助額1，252千円)		
事業の経費	3，066　千円		
事業の成果と課題	各地域の放課後子ども教室の指導者・支援員が熱心に関わって指導している。また、地域の方と子どもたちが同じ活動に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育的効果はもとより、地域の活性化にも大きく寄与している。 課題としては、全小学校区での放課後子ども教室の開催が未実施のため、麻郷小での開催が期待されるが、城南小は、次年度からの開催に向けて準備中。 また、学習支援ボランティアバンクは、小・中学校からの応援要請に応じて、登録者が日常の授業等に入り、サポートするなどの支援活動に努めている。 29年度から、統括コーディネーター1名を配置し、地域と学校の連携・協働を推進している。また、補助金を活用し既存の子ども教室にパソコン等の備品を整備した。		
評　価	B		

No.21

施　策　名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	成人式開催事業		
事業の概要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までの出生者。		
事業の実績	・成人式行事 開催日時　平成30年1月3日13:00～ 会場　西田布施公民館 対象者　126人（H28　167人） 出席者　96人（H28　133人） （経費内訳：賞賜金、消耗品費、印刷製本費、食糧費等）		
事業の経費	472千円		
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が自主的に、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を協議して、充実した内容の成人式を実施している。		
評　価	A		

No.22

施　策　名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	人権教育推進事業		
事業の概要	田布施町人権教育推進協議会が中心となって、人権教育講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載などの活動により、啓蒙啓発に努め、町ぐるみの人権学習を推進する。		
事業の実績	・人権教育講座開設事業 人権教育学習講座（中央公民館、参加者　延 152 人） 10月　5日「山口県人権教育の取組」 嬉　泰明先生 10月12日「音楽という魔法　～心と心をつないで～」 鳥上　洋子先生 10月19日「子どもを取り巻くネット社会」片山　昭治先生 ・人権教育推進大会（西田布施公民館、参加者　約200人） 11月25日「アフリカ人から見た日本」～ウガンダを例に～ センクンバ・ジェイコブ　先生 県事業「市町人権教育促進事業」 人権教育講座開設事業（1/2 補助、補助額　130千円） ・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載（年6回） （経費内訳：講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等）		
事業の経費	462千円		
事業の成果と課題	人権教育学習講座は、テーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会は、夏休み中に児童生徒の作文・詩・スローガンを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。 課題としては、出席者が社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定団体の人に限られるため、広く町民への周知、啓発が必要である。		
評　価	A		

No.23

施　策　名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	青少年の健全育成事業		
事業の概要	青少年健全育成町民会議と連携し、「ふれあい活動・クリーン作戦の日」、「家庭充実の日」運動の普及、家庭教育に関する学習機会や相談体制の充実を図り、家庭教育力の向上を目指していく。		
事業の実績	・田布施町青少年健全育成町民会議 事業としては、機関紙の発行、標語等の立看板の管理、中学生の交通安全反射ベスト購入補助、小学生や保育園児・幼稚園児へのあいさつバッジ配付、街頭補導活動などや体験活動事業として、7月にカヌー教室を実施した。 ・家庭教育支援事業 子育て講座（就学時健診の子育て講座を4小学校で実施）、町内の年長園児・保護者を対象に、「オープンスクール」や「給食の試食会」を試行的に実施し、多くの親子が参加した。 （経費内訳：補助金※町民会議への補助金）		
事業の経費	800千円		
事業の成果と課題	「ふれあい活動・クリーン作戦の日」運動の普及については、各地域で十分普及することができた。5月に実施する町主催の「町内一斉清掃」との違いが分かりにくいなどの声もあり、見直しを検討すべき時期にある。また、子育てにおける悩みや不安を抱えている保護者を対象とした「家庭教育支援チーム」を次年度から立ち上げる準備を進めている。		
評　価	A		

No.24

施　策　名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	地域公民館まつり開催事業		
事業の概要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。		
事業の実績	○開催状況 区分／時期／参加者数 田布施町文化展（中央公）／10月21日～22日／85 城南公民館まつり／11月　3日／850 西田布施文化祭／11月　5日／800 東田布施公民館まつり／11月11日～12日／700 麻郷公民館まつり／11月19日／1，000 麻里府文化展／11月12日／450 （経費内訳：補助金　※田布施町文化展は文化協会への補助金）		
事業の経費	400千円		
事業の成果と課題	各公民館において地域住民の協力で開催している。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ機会となっている。 毎年、多数の協力者が参加し、地域住民のふれあいの場となり、地域の活性化に貢献している。課題としては、高齢化が進む中で、若い後継者が育っていない状況にある。		
評　価	B		

No.25

施　策　名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	公民館運営事業		
事業の概要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。		
事業の実績	・中央公民館 （施設利用状況） 1，017件、9，315人（H28　1，181件、11，650人） ・城南公民館　ホタルまつり（5月）、盆踊り大会（8月）、体育大会（9月） （施設利用状況） 663件、10，564人（H28　560件、11，203人） ・西田布施公民館　球技大会（10月）、子ども料理教室（8月）、桜まつり（3月） （施設利用状況） 1，816件、30，574人（H28　1，769件、31，718人） ・東田布施公民館　球技大会（9月）、コスモスまつり（10月）、子ども料理教室（7月、1月）（施設利用状況） 1，023件、9，183人（H28　1，076件、11，001人） ・麻郷公民館　スポーツ大会（4月）、盆踊り大会（8月） （施設利用状況） 684件、9，387人（H28　746件、13，287人） ・麻里府公民館　盆踊り大会（8月）、親子料理教室（12月） （施設利用状況） 318件、3，698人（H28　331件、4，897人） 公民館使用料合計　2，232千円（H28　3，232円） （経費内訳） 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等		
事業の経費	18，809千円		
事業の成果と課題	各公民館において、地域の拠点となる行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。公民館の運営については、適切に運営され、利用者も多く生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。麻里府公民館は、小学校の廃校に伴い地域の子どもたちとの関わりが希薄になりがちであるが、できるだけ地域と連携を深める活動に努めている。 各館とも講座利用者が減少しているため、29年度から公民館講座利用者について、使用料の半額免除制度を導入した。今後は講座内容の見直し等も必要。		
評　価	A		

No.26

施　策　名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	公民館施設管理事業		
事業の概要	各公民館施設の維持管理を行う。		
事業の実績	・施設 中央公民館　S43年建築　RC造2階建　967．67㎡ 城南公民館　S56年建築　RC造2階建　610．61㎡ 西田布施公民館　S61年建築　RC造平屋建　1，079．09㎡ 東田布施公民館　S62年建築　RC造2階建　613．93㎡ 麻郷公民館　S55年建築　RC造2階建　613．68㎡ 麻里府公民館　S52年建築　RC造平屋建　360．85㎡ 竹尾分館　S63年建築　木造平屋建　176．37㎡ 国木分館　H元年建築　木造平屋建　237．99㎡ 小行司分館　H 6年建築　木造平屋建　199．93㎡		

	・耐震診断、耐震化工事実施状況 中央、城南、麻郷、麻里府公民館（S56年5月以前建築） 耐震診断実施（H22） （診断結果） 中央、城南、麻郷公民館 耐震無、麻里府公民館 耐震有 城南、麻郷公民館 耐震補強工事完了（H23） （経費内訳） 光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等
事 業 の 経 費	15，589千円
事業の成果と課題	施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。 中央公民館は、築後50年が経過しており、建物の老朽化のため、雨漏りを完全に防げず応急措置で対応している。 また、耐震化工事は未実施で、耐震診断結果は2階のＸ方向（東西方向）のみが、Is 目標値「0．60」に若干足りない「0．53」となっている。他の公民館についても、施設の老朽化が進んでいるため、公共施設整備計画等の検討が課題となっている。
評　　価	B

No.27

施　策　名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	図書館管理運営事業		
事 業 の 概 要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、移動図書による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動により読書活動の普及・啓発を図る。		
事 業 の 実 績	・図書館利用状況 購入冊数　1，487 冊（H28 2，130冊） 蔵書冊数　91，938冊（H28　89，760冊） 貸出冊数　85，178冊（H28 87，133冊） 登録者数　14，809人（H28 14，501人） 利用者数　34，315人（H28 35，843人） ・移動図書 9箇所を巡回 5，383人（利用者） 9，892冊（貸出冊数） ・読書感想文コンクール 10月27日～11月9日 応募作品1，175点 ・読書貯金通帳 通帳の配布（4月1日～） ・第25回図書館まつり 2月17日 読書感想文コンクール表彰等 558人（参加者数） 読書貯金通帳のグレートリーダーを表彰 各小3名、中1名 ・クリスマス会 12月16日 「おはなしの会」主催 36人（参加者数） ・ボランティア「おはなしの会」 10回開催 延262人（参加者数） ・読書会「七草」 10回開催 延42人（参加者数） ・朗読ボランティア「もやいの会」 24回開催 延109人（参加者数） ・点訳ボランティア「ほおずきの会」 42回開催 延247人（参加者数） ・ブックスタート事業 「ブックスタートパック」を贈呈 77人（4ヶ月乳児） （施設） 田布施図書館 H3年建築 RC造2階建 855．23㎡ （施設整備事業）・空調機更新工事（2F文庫室） 788千円		
事 業 の 経 費	12，050千円		
事業の成果と課題	図書館の利用実績については、前年度より利用者数は減少している。子どもの読書活動については、30年3月に第二次子ども読書活動推進計画を策定し、引き続いて家庭、地域、学校等の社会全体で計画的に子ども読書活動を推進していく。 読書貯金通帳事業についても、学校を中心に事業の促進に努め、優秀者は、図書館まつりにおいて表彰した。 また、課題として情報通信機器の急速な発展に伴い、読書離れも進んでいる状況にある。今後も引き続き良書の確保と、資料の収集・整理に努める必要がある。		

	施設管理では、建築から約30年が経過しており、空調機更新、内装補修等の経費が増加しているので、計画的な対応が必要である。
評　　価	A

No.28

施　策　名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	郷土館管理運営事業		
事業の概要	岸信介・佐藤榮作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。		
事業の実績	【郷土館利用状況】 入館者数　1，812 人（H28　1，942 人） ・発掘された山口展 平成 29 年 4 月 1 日～6 月 30 日　来場 413 人 ・ギャラリートーク 平成 29 年 6 月 3 日　来場 25 人 ・おおばのフォトクラブ写真展 平成 29 年 9 月 5 日～9 月 16 日　来場 52 人 ・田布施町の幕末から明治にかけて展示会 平成 29 年 11 月 1 日～12 月 17 日　来場 277 人 ・古代米アート・応募写真の優秀作品の展示 平成 30 年 2 月 1 日～2 月 18 日　来場 129 人 ・岸信介元宰相映像展 平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日　来場 145 人 ・その他 田布施町郷土館研究紀要（第18 号）　8月1日発行 郷土館友の会（ふるさと民話紙芝居作成） 第 30 作　おこん狐　平成 29 年 10 月 1 日 （施設） 田布施町郷土館　RC造2階建　748．00㎡　土地　1，209．00㎡ NTT-AP より賃借（旧電話交換所事務棟）　賃借料　2，052千円		
事業の経費	7，769千円		
事業の成果と課題	岸、佐藤兄弟宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めているが、入館者数も年々減少傾向にあり、その対策が課題である。館内も手狭なため、民具等の整理整頓が必要。 また、建物は建築・改築から相当の年月が経過しており、設備についても貸借当初（平成元年）設置の冷暖房設備等の老朽化が進んでいるので、計画的な対応が必要。施設の新築、移転については、現在の契約期間（H28 年度～H32 年度：5年間）を考慮しながら、今後検討する必要がある。		
評　　価	B		

No.29

施　策　名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	埋蔵文化財調査事業		
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査及び発掘調査を行う。 周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等を処理する。		

事 業 の 実 績	・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業（委託金　96．87％　21，444千円） 　　宿井団地発掘調査事業　7，417千円 　　麻郷奥団地発掘調査事業　14，027千円 ・単独事業 　　発掘調査関連事業　13，476千円 ・その他 　宿井団地現地説明会　12 月 16 日　約20人（参加者数）
事 業 の 経 費	34，920千円
事業の成果と課題	町が行う発掘調査事業は5年目となり、文化財専門員を中心に調査事業を進めている。 発掘調査事業終了後に現地説明会を開催し、地元住民や関係者の理解を深めている。また、文化財を広報に掲載するなど、町民に知っていただく取組を行っている。 課題としては、臨時職員の文化財専門員が28年度までで退職したため、専門員の人材補充が必要である。
評　　価	B

No.30

施　策　名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	スポーツ推進体制強化事業		
事 業 の 概 要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成に努める。		
事 業 の 実 績	・スポーツ推進委員 　　町スポーツ推進委員会　2回開催　（スポーツ推進委員　9名） 　　中国地区及び山口県スポーツ推進委員研修会（岩国市）　6月24，25日 　　心身障害者協議会ふれあい球技大会で指導　10月8日 　　老人クラブ連合会レクリエーション大会で指導　10月19日 　　桜まつりロードレース大会・スポーツまつり・ウォーキング大会・町内一周駅伝大会等で指導・協力 ・スポーツ少年団 　　県スポ少指導者研修会（山口市）　5月13日 　　県スポ少ジュニアリーダースクール（光市）　7月27日～29日 　　県スポ少指導者・育成母集団研修会（周防大島町）　10月15日 　　県認定員養成講習会　11月4，5日		
事 業 の 経 費	471千円		
事業の成果と課題	スポーツ推進委員、スポーツクラブ指導者、スポーツ少年団指導者等が連携し、スポーツ施策の推進に努めている。課題としては、スポーツ推進委員は、地域毎に分担しているので、特定の地域に偏らないように配慮するとともに、スポーツ推進委員の増員及び人材の育成に努める必要がある。（定数12名）		
評　　価	B		

No.31

施　策　名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	生涯スポーツ推進事業		
事 業 の 概 要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる		

	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとり一スポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。
事 業 の 実 績	・総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」（町補助金　350千円） 　クラブ員数　13団体362人(H28　333人) 　会員親睦交流大会　7月1日　約300人（参加者数） ・田布施町スポーツ少年団　（町補助金　350千円） 　団員数　11団体、　216人（H28　215人） 　結団式　4月29日　230人（参加者数） ・田布施体育協会（町補助金　1，300千円） 　団員数　14団体、約600人 町内一周駅伝競走大会　12月10日　46チーム(H28　52チーム) 「田布施川桜まつりロードレース大会実行委員会」（町観光協会補助） 田布施川桜まつりロードレース大会　4月1日　1，139人（H28　1，224人） 「たぶせスポーツまつり実行委員会」（町補助金　400千円） たぶせスポーツまつり　10月7日　約1，000人(H28　約1，100人)
事 業 の 経 費	2，600千円
事業の成果と課題	各団体とも団員拡大、自主運営の推進及び団体相互の交流促進に努め、生涯スポーツの振興に貢献している。 課題としては、これまで関係団体等との連携・協力体制が十分ではなかったので、直営により円滑に運営できるよう各種関係団体との連携に努めている。
評　　価	B

No.32

施　策　名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	我がまちスポーツ推進事業		
事 業 の 概 要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。		
事 業 の 実 績	・実施主体　総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 　ウォーキング大会　11月25日　約100人(H28　105人) 　魅力再発見ウォーキング　年24回実施		
事 業 の 経 費	― 千円		
事業の成果と課題	県の補助事業は終了したが、「田布施町スポーツ推進計画」（平成 26 年 3 月策定）でウォーキングを「我がまちスポーツ」と位置付けて、事業の推進に取り組んでいる。 ウォーキングマップの配布、ウォーキング大会・魅力再発見ウォーキングの実施を通じて、町民の健康増進に努めている。 課題としては、ウォーキング人口を増やすため、魅力的なコースの設定に努めていく必要がある。		
評　　価	A		

No.33

施　策　名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	スポーツセンター管理運営事業		
事 業 の 概 要	平成29年度から町でスポーツセンターの管理運営を行う。		

<table>
<tr>
<td>事 業 の 実 績</td>
<td>
・施設利用状況
第1体育館　16，154人（H28　18，953人）
第2体育館　21，543人（H28　21，776人）
プール　3，772人（H28　3，812人）
グラウンド　15，305人（H28　15，155人）
弓道場　4，557人（H28　5，311人）
テニス場　2，627人（H28　2，722人）
艇庫　30人（H28　30人）
施設使用料合計　2，989千円（H28　3，349千円）

（施　設）　（単位：㎡）
<table>
<tr><td>第1体育館</td><td>S57年建築　S造平屋建</td><td>728．50</td></tr>
<tr><td>第2体育館</td><td>S58年建築　S造平屋建</td><td>1，221．00</td></tr>
<tr><td>プール上屋</td><td>H26年建築　S造平屋建</td><td>914．64</td></tr>
<tr><td>〃　更衣室</td><td>S57年建築　RC造平屋建</td><td>118．83</td></tr>
<tr><td>弓道場</td><td>S62年建築　木造平屋建</td><td>295．64</td></tr>
<tr><td>艇　庫</td><td>S58年建築　S造平屋建</td><td>447．00</td></tr>
<tr><td>グラウンドナイター設備</td><td>H2年設置　8基</td><td>（グラウンド　16，358）</td></tr>
</table>

○施設整備事業（単独事業）　（単位：円）
<table>
<tr><td>第2体育館バスケットゴール取替工事</td><td>4，741，200</td></tr>
<tr><td>第2体育館壁板補修工事</td><td>194，400</td></tr>
<tr><td>第2体育館壁塗装補修工事</td><td>151，200</td></tr>
<tr><td>第1体育館天井照明取替工事</td><td>126，360</td></tr>
<tr><td>第1体育館バスケットゴール撤去工事</td><td>390，960</td></tr>
<tr><td>第1体育館ハンドルワイヤー撤去工事</td><td>105，840</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>5，709，960</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>事 業 の 経 費</td>
<td>24，507千円</td>
</tr>
<tr>
<td>事業の成果と課題</td>
<td>施設の利用状況について、大会規模の縮小等により、利用者数は減少している。施設の管理については、29年度から体協による指定管理から直営管理に変更している。また、社会体育係の職員がスポーツセンターに移り、スポーツ関係業務を1か所に集約し効率的な運営に努めている。スポーツ関係団体等との連携・協力体制も構築され、スポーツまつりの内容も大幅に見直しを行った。施設整備事業としては、従来から要望が多かった可動式のバスケットゴールの取替工事を実施した。また、施設の老朽化に伴い修繕個所などが増加しており、計画的な修繕計画が必要となっている。</td>
</tr>
<tr>
<td>評　　価</td>
<td>B</td>
</tr>
</table>